



平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月5日

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所 東  
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195  
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績 (平成24年2月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	7,088	0.4	1,006	3.4	1,071	19.0	495	98.5
24年1月期第3四半期	7,059	△5.9	973	△13.7	900	△25.7	249	△62.9

(注) 包括利益 25年1月期第3四半期 557百万円(144.9%) 24年1月期第3四半期 227百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第3四半期	8.28	—
24年1月期第3四半期	4.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第3四半期	33,225	25,147	75.7	420.16
24年1月期	33,904	25,066	73.9	418.53

(参考) 自己資本 25年1月期第3四半期 25,147百万円 24年1月期 25,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年1月期	—	3.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想 (平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△1.3	1,280	△4.0	1,340	3.9	630	465.3	10.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(注1) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(注2) 平成24年2月1日をもって、当社は、楽天地建物株式会社(当社の非連結子会社)を吸収合併し、株式会社楽天地サービス(当社の連結子会社)は、株式会社アルフィクス(当社の非連結子会社)を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期3Q	65,112,187株	24年1月期	65,112,187株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	5,260,535株	24年1月期	5,220,688株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期3Q	59,874,670株	24年1月期3Q	59,897,454株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要を背景として持ち直していた個人消費や民間設備投資の回復が弱まってきており、雇用情勢の改善にも足踏みがみられ、海外経済の下振れ懸念もあり、景気の先行きは引き続き不透明なまま推移いたしました。

このような状況下にあつて、売上高は7,088百万円と前年同四半期に比べ28百万円(0.4%)の増収となり、営業利益は1,006百万円と前年同四半期に比べ33百万円(3.4%)の増益、経常利益は1,071百万円と前年同四半期に比べ171百万円(19.0%)の増益、四半期純利益は、前年同四半期に計上した「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う影響額がなくなったことなどから、495百万円と前年同四半期に比べ246百万円(98.5%)の増益となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、主力の楽天地ビルをはじめとする各ビルにおきましては、設備の更新やビルテナントに対するきめ細かな対応、「グルメスタンプラリー」や「チケ得」などの販促活動を継続することで顧客満足度の向上を図りましたが、楽天地ダービービルの賃料減額要請を受け入れましたので、前年同四半期を下回りました。

ビルメンテナンス事業では、引き続き新規物件の獲得に努めましたが、官公庁関係では、激しい入札競争のもと受注額を伸ばすことができず、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は3,832百万円と前年同四半期に比べ85百万円(2.2%)の減収となり、セグメント利益は1,668百万円と前年同四半期に比べ138百万円(7.7%)の減益となりました。

#### (娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、大型ヒットはなかったものの、「テルマエ・ロマエ」「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」「BRAVE HEARTS 海猿」等の好調作品を上映したことにより、前年同四半期を上回りました。

温浴事業では、「楽天地天然温泉 法典の湯」は震災による休業がなくなったことにより、また、「天然温泉 楽天地スパ」は知名度が高まりお客様が増加したことにより、前年同四半期を上回りました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート錦糸町」「楽天地フットサルコート調布」が引き続き堅調に稼働し、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は2,217百万円と前年同四半期に比べ121百万円(5.8%)の増収となり、セグメント利益は174百万円と前年同四半期に比べ137百万円(372.5%)の増益となりました。

#### (飲食その他事業)

飲食事業では、ドトールコーヒー系フランチャイズ店11店は、震災後の一部店舗における休業や営業時間短縮による影響がなくなりましたが、昨年9月をもって「かつや千葉本八幡店」を閉店しましたので、前年同四半期を下回りました。

その他の事業では、ダービービル売店は、震災による競馬開催中止の影響がなくなり、宝くじ販売についても、ジャンボ宝くじの販売が好調だったことなどから、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は1,038百万円と前年同四半期に比べ6百万円(0.7%)の減収となり、セグメント利益は47百万円と前年同四半期に比べ13百万円(38.1%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は33,225百万円と前連結会計年度末に比べ678百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が増加した一方で、有価証券が償還となったこと、短期貸付金が返済されたこと、有形固定資産の減価償却がすすんだことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は8,078百万円と前連結会計年度末に比べ759百万円の減少となりました。これは主として、浅草事業場のテナントに対する立退補償金の支払いにより、未払金が増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は25,147百万円と前連結会計年度末に比べ80百万円の増加となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年9月5日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成24年2月1日をもって、当社は、楽天地建物株式会社(当社の非連結子会社)を吸収合併し、株式会社楽天地セルビス(当社の連結子会社)は、株式会社アルフィクス(当社の非連結子会社)を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,521	2,628,671
売掛金	205,908	220,547
有価証券	2,470,475	1,868,636
その他	877,901	394,078
貸倒引当金	△32	△44
流動資産合計	5,321,774	5,111,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,423,464	16,627,881
土地	5,535,216	5,654,309
その他(純額)	385,704	797,736
有形固定資産合計	23,344,385	23,079,927
無形固定資産		
	257,120	305,906
投資その他の資産		
投資有価証券	3,682,023	3,656,225
その他	1,299,243	1,071,692
投資その他の資産合計	4,981,267	4,727,918
固定資産合計	28,582,772	28,113,752
資産合計	33,904,547	33,225,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	306,706	327,987
未払法人税等	19,755	258,774
賞与引当金	46,383	110,275
事業整理損失引当金	225,700	65,376
その他	2,128,389	1,319,125
流動負債合計	2,726,934	2,081,538
固定負債		
退職給付引当金	550,502	543,840
役員退職慰労引当金	82,774	93,086
資産除去債務	355,668	329,883
受入保証金	5,090,315	4,981,300
その他	31,818	48,648
固定負債合計	6,111,077	5,996,759
負債合計	8,838,011	8,078,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	20,520,220	20,550,886
自己株式	△1,962,542	△1,974,391
株主資本合計	24,982,250	25,001,068
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	84,284	146,276
その他の包括利益累計額合計	84,284	146,276
純資産合計	25,066,535	25,147,344
負債純資産合計	33,904,547	33,225,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	7,059,216	7,088,092
売上原価	5,260,227	5,236,272
売上総利益	1,798,988	1,851,819
一般管理費	825,626	844,936
営業利益	973,362	1,006,883
営業外収益		
受取利息	19,859	6,442
受取配当金	34,466	23,949
持分法による投資利益	40,369	111,510
投資有価証券売却益	—	26,669
その他	13,964	47,562
営業外収益合計	108,660	216,134
営業外費用		
支払利息	60,707	53,638
固定資産除却損	26,156	54,298
投資有価証券評価損	68,142	—
事業整理損	—	29,272
その他	26,603	13,932
営業外費用合計	181,608	151,142
経常利益	900,413	1,071,876
特別利益		
事業整理損失引当金戻入額	20,756	—
特別利益合計	20,756	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	150,537	—
固定資産除却損	37,235	—
事業整理損失引当金繰入額	—	65,376
減損損失	—	82,445
特別損失合計	187,773	147,821
税金等調整前四半期純利益	733,396	924,054
法人税等	483,655	428,292
少数株主損益調整前四半期純利益	249,741	495,762
四半期純利益	249,741	495,762



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	249,741	495,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,007	61,991
その他の包括利益合計	△22,007	61,991
四半期包括利益	227,733	557,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,733	557,754
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	3,918,609	2,095,666	1,044,940	7,059,216	—	7,059,216
セグメント間の内部 売上高または振替高	319,045	779	337	320,161	△320,161	—
計	4,237,654	2,096,445	1,045,277	7,379,377	△320,161	7,059,216
セグメント利益	1,807,300	36,831	34,488	1,878,620	△905,257	973,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△905,257千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△825,626千円、セグメント間取引消去△79,631千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	3,832,781	2,217,286	1,038,024	7,088,092	—	7,088,092
セグメント間の内部 売上高または振替高	317,815	1,021	372	319,209	△319,209	—
計	4,150,596	2,218,308	1,038,396	7,407,301	△319,209	7,088,092
セグメント利益	1,668,379	174,027	47,614	1,890,021	△883,137	1,006,883

(注) 1. セグメント利益の調整額△883,137千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△844,936千円、セグメント間取引消去△38,201千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

「不動産賃貸関連事業」において、取り壊し予定の賃貸マンションについて8,730千円、「飲食その他事業」において、当初の収益見込みを下回ることとなった一部店舗について73,714千円、それぞれ減損損失を計上しました。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。